



## 「滞納処分・差押え問題 東日本学習交流集会」へ179人



1月30日、東京で開催された「滞納処分・差押え問題東日本学習交流集会」は、東京をはじめ首都圏、北海道から広島まで各地から179人が参加し、学び交流しました。



事前申込みを大きく超える参加者で会場は満席に。浦野広明先生（正面演壇）の講演をメモを取りながら聴き入る参加者のみなさん。



浦野広明税理士は基調講演「滞納処分（差し押さえなど）をどう見るか」で、「税の負担は、憲法の応能負担原則が根拠であり、累進課税機能が不可欠である。すべての税は

『福祉目的税』である」ことを強調し現在の税制を批判し、憲法を投げ捨てる自公政権に対して、「生存権や応能負担原則を運動に寄ってつかみとる新たな時代を迎えた」と運動の重要性を強調しました。

参加者からは「憲法を武器にして滞納処分に挑む姿勢が大切であることを改めて学ぶことができた」「元気がでた」など感想が寄せられました。

講演を受けた午後から「過酷な取り立ての実態と運動」（全商連）、「徴収現場の実態」（自治体職員）から特別報告、群馬（前橋）・神奈川・千葉社保協から過酷な滞納処分の実態、東京・北区社保協から王子駅前で行っている「なんでも相談会」の報告、「全国クレサラ・生活再建問題被害者連絡協議会秋山事務局長は「共同して相談会を開きたい」の思いが語られました。

交流集会に参加して「実務にすぐに役立つ内容でした。これから実践に用いて成果を上げていきたい」の声が寄せられました。

同テーマでの「西日本集会」日程は、次の通りです。

「滞納処分・差押え問題西日本学習交流集会」

日時 4月2日（土）

会場 岡山市 西川原プラザ

### 2015年度中央社保協代表者会議へ参加を

◆日時 2月16日（火）

10：30～16：30（予定）

◆会場 全労連会館2階ホール

※終了後、御茶ノ水駅で宣伝行動を行います。



新署名／JR山手線・池袋駅東口で1.27宣伝行動

全労連・中央社保協

## "年金納めるのは大変"一怒りの声あいつぐ

11団体、29人が参加。署名71筆集約

1月27日12時～13時30分、JR山手線・池袋駅東口で11団体29人が新署名「社会保障は国の責任です」一の宣伝行動に取り組みました。自治体の現場、医療・介護など現場からの訴えに応え71筆の署名が寄せられました。20代の派遣で働いている女性から労働相談も寄せられました。

署名をしながら対話すすむ



年配の女性は「介護保険の改悪を知っていて、要支援のサービスが外され許せない」。別の女性は「知り合いは手術をしても1週間で退院。早期退院加算なんて知らなかった。長く入院させると病院が赤字になるから退院をすすめるようになるのか」と怒りの声。

非正規、21歳の男性は「年金を納めるのが大変。年金をもらう頃には医療や福祉はどうなっているのだろう」とベッド削減や入院給食費の値上げの説明に驚きながら署名。「企業にしてみれば非正規で雇ったほうが会社は潤うからだろうけど、こんな社会はいずれ行き詰ってしまう」と。

派遣、20代の女性から「椎間板ヘルニアになって働けず収入がなくなり、年末は病院に行くのも控えた。29日までに電話代を払わなければいけないけどどうするか…」と深刻な相談も寄せられました。署名の趣旨を説明すると「本当に許せない」と署名してくれました。

一度通り過ぎた若者が戻ってきて署名してくれ握手を求めたり、署名のあとに「がんばって！」と肩をたたいて励ましてくれる年配の男性もありました。

